
第 417 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2023 年 10 月 27 日(金) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階研究所セミナー室

演 者: 星野 倫範 氏

明海大学歯学部形態機能成育学講座口腔小児科学分野

臨床に役立つミュータンス菌の話

歯科における最も多い主訴は齲蝕であり、歯列咬合の問題が主訴として増えてきているが、その傾向は現在でも変わりありません。そして齲蝕により人が最も困る不快事項は痛みです。仮に再生医療の研究が進み、歯の再生が出来る様になったとしても、むし歯がある以上、人は歯の痛みから逃れることが出来ないため、歯科学における齲蝕の研究は永遠のテーマであり、齲蝕の原因となるミュータンス菌はその主たる研究対象となってきました。ところでこのミュータンス菌が齲蝕の原因菌であるということはよく知られていることで、ヒトで齲蝕を引き起こすその菌の正式名称は、*Streptococcus mutans* あるいは *Streptococcus sobrinus* であるということは歯科の関係者であればよく知っていることでしょう。その一方で患者さんに口腔衛生指導をしたり、実際に歯科治療を行ったりしている際にミュータンス菌のことまで考えてやっている人はそれ程いないのではないのでしょうか。授業では恐らく Miller の化学細菌説や Keyes の仮説、ミュータンス菌の歯面への定着メカニズムの概略や酸産生能の話はあると思いますが、あまり国家試験にでてくる様なものでもないので、忘れてしまっている人も多いでしょう。しかし、ミュータンス菌のことをもう少し詳しく知っていれば、患者さんに口腔衛生指導を行う際にミュータンス菌はこういう性質を持っているのもっとこのように歯磨きをした方が良いとか、このようにおやつや食事を取った方が良いでしょうとか、話を広げるのに役立つかもしれません。また、歯科治療を行う際にもこのような形態ではプラークが付きやすいとか考える様になると修復方法や形成時の形態、修復材料にもこだわりをも

*Matsumoto Dental University
Graduate School of Oral Medicine*

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,
Nagano 399-0781, Japan

てるようになり、ミュータンス菌を知ることは意義のあることと考えます。そこで今回のセミナーでは、ミュータンス菌をもっと知ってもらうために基本的な話しの復習とミュータンス菌の細菌学的、生化学的性質や他の細菌との遺伝学的な関係、齲蝕の原因菌たる理由、ミュータンス菌がいないと齲蝕は出来ないのか、抗齲蝕ワクチンの開発などの話しを紹介し、これを今後の歯科保健指導などに役立てていただければと考えています。

<略歴>

1996 年	大阪大学歯学部卒業
2000 年	大阪大学大学院歯学研究科博士課程修了
2000 年	大阪大学歯学部附属病院 医員
2002 年	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児歯科学講座 助手
2007 年	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児歯科学講座 助教
2007 年	長崎大学病院小児歯科 講師
2014 年	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児歯科学講座 准教授
2017 年	明海大学歯学部形態機能成育学講座口腔小児科学分野 教授

現在に至る

第 31 回、第 32 回、第 33 回歯科衛生士国家試験 試験委員
日本小児歯科学会 専門医指導医 常任理事
日本障害者歯科学会 認定医指導医
日本小児口腔外科学会 認定医指導医 常任理事